

《担当者名》吉田 繁

【概要】

臨床検査学総論I、臨床検査学総論II、臨床検査学実習、臨床実習で習得した知識を整理し、さらに、総合的な知識や理解力を高めるために振り返りの授業をおこなう。本講義では様々な演習問題やReversed Clinicopathological Conference (R-CPC)を通して、卒業後に臨床検査技師として必要とされる一般検査の知識ならびに一般検査と他の臨床検査との関連について学習する。

【学修目標】

- 1) 一般検査の臨床的意義を理解するために、測定原理や結果の解釈、疾患との関係に関する知識を身につける。
- 2) 一般検査の項目の測定原理と注意点を説明することができる。
- 3) 一般検査の項目と疾患との関係を説明できる。
- 4) 一般検査を含む様々な検査結果から疾患や病変を推測することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	尿定性検査1	・尿蛋白測定法の原理と注意点 ・尿の一般性状と疾患との関係	吉田 繁
2	尿定性検査2	・尿蛋白測定法の原理と注意点 ・尿蛋白の意義、疾患との関係	吉田 繁
3	尿定性検査3	・尿糖測定法の原理と注意点 ・尿糖の意義、疾患との関係	吉田 繁
4	尿定性検査4	・尿潜血反応の原理と注意点 ・尿潜血の意義、疾患との関係	吉田 繁
5	尿定性検査5	・亜硝酸塩測定法の原理と注意点 ・白血球反応の原理と注意点 ・亜硝酸塩、白血球の意義、疾患との関係	吉田 繁
6	腎機能検査	・腎機能検査の原理と注意点 ・腎機能検査の意義、疾患との関係	吉田 繁
7	尿沈渣検査1	・尿沈渣標本作製と観察方法 ・尿中の血球細胞の意義、疾患との関係	吉田 繁
8	尿沈渣検査2	・尿中の上皮細胞の意義、疾患との関係	吉田 繁
9	尿沈渣検査3	・円柱や結晶の意義、疾患との関係	吉田 繁
10	尿沈渣検査4	・異型細胞の意義、疾患との関係	吉田 繁
11	脳脊髄液検査1	・細胞学的検査の原理と注意点 ・細胞分類の意義、疾患との関係	吉田 繁
12	脳脊髄液検査2	・生化学的検査の意義、疾患との関係	吉田 繁
13	糞便検査	・便潜血検査の原理と注意点 ・便潜血の意義、疾患との関係	吉田 繁
14	一般検査のまとめ1	・一般検査を含む様々な検査結果から病変、疾患を推測する。	吉田 繁
15	一般検査のまとめ2	・一般検査を含む様々な検査結果から病変、疾患を推測する。	吉田 繁

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【備考】

その都度プリントを配布する。

クリッカーを使用した双方向型授業を行う。

Google Formを利用して学習課題（小テスト）を提示する。

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲の教科書を読んでおくこと。（80分）

復習は、教科書や配付資料、小テストを活用し学習を深めること。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

【実務経験】

吉田 繁（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、検体採取から結果の解釈までに関する基本的知識を講義する。